

家庭数

令和4年3月10日開催  
月22日発行

令和4年3

〈出席者数〉28名  
理

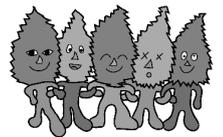
中村 優果

目黒区立五本木小学校  
PTA会長／川嶋

書記／岡本 香織・



# 第7回実行委員会便り



会長より

あっという間に今年度が終わります。子どもたちはコロナ禍による制約の中でも、充実した一年だったのではないかと思います。コロナが少し落ち着いたタイミングで様々な行事の開催をご決断いただいた校長先生や、お支えくださった先生方には心より感謝申し上げます。

6年生はもうすぐ卒業ですね。ご卒業おめでとうございます。思えば黄色い帽子をかぶって通学し始めた1年生の時、まだ幼かった子どもたちがすっかり大人びて、成長の速さを感じます。コロナで少し不自由だったろうけど、そんな時だからこそ、楽しく友だちと過ごした時間は大切な宝物だと思います。息子も6年生を送る会で下級生たちに卒業を祝福してもらえたことを、とても穏やかな笑顔で嬉しかったと話していました。こうした行事はお互いを思いやる気持ちが膨らむ大事な行事なのだと実感しました。

この一年間PTA会長としては、至らない事も多く、頼りない会長だったと思いますが、様々な学びと貴重な経験をさせていただきました。壇上から見た子どもたちのキラキラした表情は一生忘れません。子どもたちのために日々奔走してくださっている先生方、ご理解ご協力いただきました保護者の皆さま、そして、子どもたちのことをいつも見守り、思ってくださいている地域の皆さま、あらためて感謝申し上げます。この一年、本当にありがとうございました。



校長より

PTAの皆さまには、本年度も本当にお世話になりました。日々、子どもたちを元気に学校に出していただいたことに感謝申し上げます。予測を超えてコロナ禍が続き、収束という日が来るのか悲しくなるような日もあった1年間でしたが、その時々で、リモート授業や学級閉鎖などにも力を貸していただき、どんなにありがたかったかしれません。

開校90周年の取組には、通常の活動の枠組みを超えて、お力をいただきました。おかげさまで、子どもたちの心に残る“瞬間”“瞬間”が、たくさんできました。

通常の活動に際しては、今年度も、PTA活動自体が、経験を生かして進めることができず、役員・委員の皆さまを中心に苦慮なさることが多かったと思います。いろいろな場面で即断即決をしていただき、

この状況下でできる100%を実行していただきました。教職員一同、感謝しております。ありがとうございました。





## 五本木住区センター児童館・学童保育クラブより



いつも児童館学童保育クラブ事業にご理解とご協力いただきありがとうございます。2月のお楽しみ工作は「キャンドルづくり」をしました。めったにできない工作ということもあり、「すごいね」「それかわいい」「きれいにできた」と工程の一つひとつに感動し、作るのを楽しんでいました。持ち帰ったあとも飾ったり、お風呂で火をともししてみたり、おうちでも楽しんでいたようです。「またやりたい」という声もあったので来年もぜひ実施したいと思います。中学生対象の企画として「バドミントンタイム」を実施しました。五本木小学校卒業生の中学生たちが企画をし、当初五本木中学校の体育館をお借りして「バドミントン大会」を実施の予定でしたが、区内の感染拡大により大会は中止となってしまいました。ただ、中学生も楽しみにしていたので、急きょプレイルームで「中高生バドミントンタイム」という形にして感染症対策を取りながらバドミントンを楽しみました。また今年は五本木小の6年生たちが日常でもよく遊びに来てくれていて、4月から中学生になっても児童館を居場所の一つとして楽しんでもらえるよう、6年生の「受験が終わったら、6年生みんなで遊びたい」という声から「6年生タイム」を実施しました。当日は自分たちで友だちを誘い合い、17名の参加がありました。グループ分けや遊びなど自分たちで決め、6年生だけの時間を楽しんでいました。6年生たちは日常から自分たちだけが楽しむのではなく、下級生たちとも一緒に遊んでくれていて、とても良い先輩像をみんなに見せてくれていています。ぜひ、4月以降中学生になっても引き続き児童館に遊びに来て中高生活動を盛り上げてくれると嬉しいです。3月もお楽しみ工作の「アメリカンフラワーづくり」と4月の「ようこそ1年生歓迎会」に向けてスタッフを募集し、発表の練習を進めていく予定です。

---

### <各委員会より>

#### 【90周年事業】

皆さま、こんにちは。

この1年間を通し様々な周年事業を行ってまいりましたが、最後の企画として、3月7日(月)の朝礼にて90周年記念最後の事業として子どもたちが書いた10年後の自分へのメッセージと宝物、そして皆さまから預かった10年後のお子さまに向けたメッセージをタイムカプセルにしました。

これは五本木小学校が100周年を迎える2032年に開封します。

子どもたちにおいては、このコロナ禍の中、いろいろ我慢することが多い1年だったと思いますが、我慢の向こうには必ず希望や喜びが待っていると信じ、みんなでこのコロナを乗り越え、また10年後大きく立派になった子どもたちと再会できることを楽しみにしています。

わたしたち周年委員はこのような記念すべき1年間を皆さまと共に祝えたことを本当に幸せだったと感じています。そして周年事業を通して子どもたちが先生方や地域の皆さんに愛され守られていることを実感しました。10年後はどのような時代が訪れるのか想像もできませんが、子どもたちにはこれからもあの空高く舞い上がったバルーンのように自由に、そして五本木小学校で育った自分に誇りをもって成長してもらいたいと願っています。

また、校長先生をはじめ、教職員の皆さまには、このコロナ禍においてギリギリの選択を迫られながらも【子どもたちの学び】を守ってくださったことをこの場を借りて心より御礼申し上げます。

1年間、90周年事業にご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

90周年委員長 宮下直紀

---

#### 【校外活動】

◇3/3(木) 青少年育成部会出席 (次回4/7(木)開催予定)

◇声かけ安全運動 \*現在1年生保護者実施中(開始メール配信と報告フォーム確認中)

◇通学路安全マップ作成、配布(3月末~4月上旬予定)

---

#### 【広報】

- ◇1/31(月)：業者へ裏面のレイアウトと素材を入稿
- ◇2/4(金)～2/10(木)：業者より校正用 PDF 受け取り
  - ①PTA 運営・広報委員にて内容確認 ②航空写真の原案作成した児童の保護者へ内容確認
- ◇2/7(月)～2/14(月)：業者より校正用プリントを宅急便で受け取り
  - ①学校へ内容確認 ②一部の掲載委員の方へスキャンデータ LINE 共有にて掲載確認
- ◇2/15(火)～2/21(月)：業者へ修正データお渡し
  - ①業者より最終 PDF 受け取り ②学校・PTA 運営・広報委員にて内容・部数確認→印刷指示
- ◇2/22(火)～3/8(火)印刷&納品
- ◇3/9(水)：配布準備、次号『先生・職員紹介号』ミーティングにて役割分担・テーマ決定→次号の進行
- ◇3/9(水)～3/10(木)：『開校 90 周年・開校 90 周年記念学習発表会・卒業記念合併号』配布
- ◇4/6(水)：『先生・職員紹介号』の撮影・アンケート配布予定

## 【運営】

- ◇2/10(木) 常任理事会出席（会長）
- ◇2/27(日) 役員会開催（運営）
- ◇3/3(木) 青少年育成部会出席（会長・副会長）
- ◇3/15(火) 住区主催落語イベント 同時配信サポート（運営）
- ◆3/24(木) 卒業式への PTA 参列は中止になりました

<来年度の PTA 活動について>

\*サポート制

→来年度も実施しない予定

→今年度と同様、感染状況と開催方法に柔軟に対応できるよう、住区や学校行事、ベルマーク収集など必要に応じてその都度ボランティア募集をかける体制を維持します。

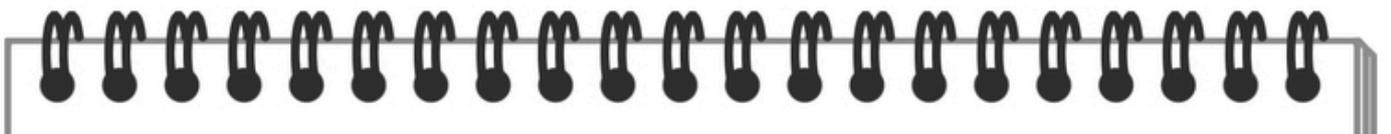
\*各委員会の体制

◇今年度と同様の委員会体制となります。

- ・学年委員（各クラス 2 名）
- ・校外活動委員（各クラス 2 名）
- ・広報委員（各学年 1 名）
- ・推薦委員（各学年 1 名）
- ・家庭教育学級委員（各学年 1 名）

◇新年度の予定

- ・委員事前アンケートの結果集計（前年度\_学年委員）
- ・新年度委員決定：4 月の保護者会にて
- ・4/23（土）9:00 委員総会※  
※前年度委員長の方は委員会オリエンテーション・新年度委員長への引き継ぎのため総会にご出席ください。
- ・4/23（土）10:30 第 1 回実行委員会



## 今年度の活動報告と 来年度への課題

### 【学年】

<今年度の活動報告>

◇実行委員会について：各学年により持ち回り制や行ける人が出席する形をとった。

ZOOM 開催だったので、仕事の合間などでも参加しやすかった。

- ◇保護者による本の読み聞かせについて：2 回実施した（6 回中 4 回は緊急事態や蔓防のため中止）
- ◇談話会の開催について：例年の茶話会に代わり、飲食なしでテーマを決めて 30 分程度の会を開催。低学年は初めて保護者の皆さんと交流を持つ事ができた。
- ◇ベルマーク回収、集計、送付作業について：今年度もクラス別に回収しボランティアによる集計後、学年委員有志で在校にて総集計し送付作業をした。

### ＜来年度の課題＞

- ◇実行委員会への出席は、コロナ終息後もリモート出席を選べる環境であると参加者の幅が広がって良いと思う。（Teams を使用した方が資料の共有をしやすいのでは？）
- ◇本の読み聞かせが 2 回しかできなかったのが残念だった。放送やプロジェクターなどを用いて確実に開催できる方法を学校側と相談し保障できればと思う。
- ◇茶話会ではお菓子を用意するとのことだが、食べずに持って帰る方が多いので、今後も「談話会」にし、その予算を子どもに使ってはどうか。
- ◇企業側がベルマーク事業を終了させているところがいくつかあったので、事前に終了していることをお伝えできれば、収集や集計の無駄にならないかと感じました。また 3 年生で購入するリコーダーにベルマークが付いていたので、事前に学校側から周知して回収できるとよいのではないだろうか。今年度から Web ベルマークを試みたので、やり方など周知されるよう案内できるとよいと思う。
- ◇来年度への引き継ぎへ向け、一目で流れが分かる資料が次年度始動日に前任者が同席するとよいのではないか。

---

## 【校外活動】

### ＜今年度の活動報告＞

- ◇過去校外活動資料を読み、どこと協力し活動するのか？いつ迄に着手したらよいのか等、活動内容を把握するのがとても難しかった。
- ◇コロナ禍のもと前年に引き続き、行事部・安全部と共に各種行事の中止や延期となり、次年度委員の方へ詳しい情報をお伝えする事が困難であると感じました。
- ◇活動内容は、声かけ挨拶運動・通学路点検・育成部会議出席・グラウンドゴルフ（住区）サポート・周年バルーンサポート
- ◇本年度からの取り組みとして、近隣小学校（上目黒、油面、鷹番）通学路安全マップ共有、防災マップ資料を紙配布中止→iPad へ変更しました。

### ＜来年度の課題＞

- ◇安全部：子どもたちの安全を見守る大事な活動なので密にならないよう再開、継続してほしい。
- ◇行事部：過去に役員経験のある方がいれば円滑に進むが、そうでない場合は進行が大変かと心配です。活動準備の流れを誰でも分かりやすくする事が課題だと思います。

---

## 【広報】

### ＜今年度の活動報告＞

- ◇年度当初、学習発表会の縮小、各行事の延期もしくは未定と伺っていたことから、誌面をどのように埋めていくかを課題として進行しました。後半、行事が行われるようになると、追加掲載のご提案などを受け、今度は進行中のレイアウトにどのようにスペースを設けるか、広報委員や業者とのスケジュールの再調整をしながら発行時期の見直しなどを行い進行しました。コロナ禍もあり、行事内容や撮影に関して二転三転する中、委員の皆さんに柔軟にご対応頂いたことで無事に仕上がりました。
- ◇ミーティングは、事前準備としてスプレッドシートに各自考察を入力してもらったうえで zoom に

進行、業者への入稿はサーバー共有を依頼し、非接触で行うことが出来ました。

### <来年度の課題>

- ◇ 展覧会は、開催・中止のどちらの場合も見本誌があるので参考になると思います。
- ◇ 卒業記念は、6年生に掲載不可のご家庭が含まれる場合は内容の検討が必要です。
- ◇ 来年度ではないですが、学習発表会は、開催が縮小などの場合、別の追加記事を検討するのは負担になることもあるので、学校や運営、業者に相談しながら観音両開きの8ページから、観音片開き6ページ等のページ数の縮小や、例年2ページ程度の卒業特集を膨らませるなどの対応も検討しても良いと感じます。
- ◇ 広報誌用の写真はデジタルカメラでの撮影が良いです（業者からの情報）  
スマートフォンのカメラはレンズが小さく印刷用には不向きです。
- ◇ 広報誌の作成には業者のサポートが欠かせないので、次年度も同様の予算を確保頂けると幸いです。

---

## 【家庭教育学級】

### <今年度の活動報告>

- ◇ COVID-19の影響で生活様式に大きな変化があった1年だった。特に私たち保護者として、ポストコロナに備え、子どもの将来を見据えた対応を検討する必要があると考えた。そこで、講演のテーマを『AI時代の社会、これからの学び』とし、オンライン時代を生き抜く親子での学びについて考える機会を設けた。
- ◇ 感染の影響を鑑み、開催はオンライン、2021年11月の1回開催とした。

### <来年度に向けて>

- ◇ 講師は小学生を対象とした教育事業を行っているため、講演内容が充実しており、事後アンケートでは参加者の満足度が高かった。
- ◇ 大人の学びにも言及した講義内容であったため、多くの共感を得られた。
- ◇ 初のオンライン開催だったが、参加者も慣れていくようで問題なくスムーズにできた。  
引き続きCOVID-19の状況に合わせて開催は柔軟に検討する必要がある。
- ◇ ポストコロナのオンラインとリアルの同時開催の実現を検討する。
- ◇ 参加人数の増加を促進する必要あり。
- ◇ 申し込み方法の完全システム化（紙の廃止）を検討する。
- ◇ 講義内容の動画共有方法など、周知範囲の検討をする。

---

## 【推薦】

### <今年度の活動報告>

- ◇ 推薦アンケートをWEB化した。紙資源の節約の他、委員の印刷対応コストの削減、集計の効率化、個人情報セキュリティ向上（今までは名簿を紙で配っていた）を図った。
- ◇ 今年度の推薦委員は多忙な父母が多かったこともあり、役割分担を行い負担軽減を図った。初回の委員会組成時に一度対面で会った他は、Web会議含め一度も集まりを持つことなく活動完了。  
委員同士の連絡にはLINEを使用した。
- ◇ 昨年度からの課題申し送り3件全てに対応した。  
>過去に役員を担当したことのある父母がわかると推薦時のインプットとして使える

⇒一覧化して来年度の委員会に引き継ぐ

(即座にポイント制の導入や過去の役員経験を公開するという訳ではない)

▶推薦のために PTA 役員の活動内容を父兄に共有したい

⇒認証サイトを作成し、WEB 上から活動内容が見られるようにした

▶推薦用紙の多くが白紙でシュレッダー行きとなっていた⇒WEB 化により推薦用紙自体をなくした。

### <来年度への課題>

◇今回、推薦を必須項目として推薦フォームを作成したが、コロナ過ということもあり、特に低学年では推薦できるほど関係性が構築できていないという指摘があった。作成時にその課題は認識していたが、昨年度引継ぎ内容から、任意回答とした場合に大部分が無回答となることが想定されたため、推薦必須とした。一方で、投票率は 50%程度と低かったが、無回答者への再回答依頼は行わなかった。来年度はどのような指針で推薦を行うか検討が必要。

◇自薦が優先されるということに対する反対意見があった(自薦すれば誰でもなれてしまう&それは PTA の総意ではない)。次期役員決定後にこの意見が役員会のメンバから上がったが、今期は結果

的に自薦優先でも推薦数優先でも同じ役員になるという結果だったため、再選の議論はしなかったが、選出方針については来期への申し送りとする事となった。

◇次期役員の連絡先共有までを推薦委員の職掌として欲しいとのリクエストがあった。今期は副校長の許可を得て、次期会長に次期役員全員の連絡先(電話番号)を共有し、次期役員内部の連絡先共

有は次期会長経由でお願いした。

◇WEB 化自体は概ね高評価であったように思う(推薦フォームのコメントから)。一方で、集計の効率化のため名簿から児童氏名ではなく児童番号で回答してもらう方式をとったが、名簿から児童

番号を写すのが大変との意見もあった。推薦フォームのブラッシュアップが必要。※名簿から直接

推薦者を選択できる推薦フォームを検討したが、兄弟姉妹を考えると推薦フォームの構築が難しかったため断念。

◇Home&School が PTA 活動では使えないということで、今年度は推薦フォームへの誘導や推薦期限の

リマインドを見守りメールで行った。来年度は見守りメールが使えなくなるため、これらの連絡を

どうするかが課題。

◇名簿や役員の役割を載せるために認証式の WEB ページを構築した(AWS 上に WEB サーバを構築

し、BASIC 認証を実装)。構築にある程度の IT スキルが必要なので、今後の推薦委員会として同じ

方式が恒久的に使えるとは限らない(毎年度、IT スキルがある人が委員会内にいるとは限らない)

IT リテラシに拠らない方式の確立が必要。

◇引継ぎの役員一覧を今後どう活用するのか、検討が必要。

◇電話がけは LINE でご連絡する事が多かったので、1 人 1,000 円の通信費は減額しても良さそう。

サーバー代など含め、推薦委員の予算の見直しを検討する。

---

## 【運営】

### <今年度の活動報告>

コロナ禍での対応も 2 年目となり、学校と連携しながら子どもたちの学校活動を最大限サポートすることができました。具体的には、都度ボランティア制・PTA 総会の書面決議化・行事の動画配信など、去年に引き続き積極的に新しい試みを執り行ったことでより定着化につなげることができました。PTA 活動の負担軽減と感染拡大防止の両立は引き続きの課題で、令和 3 年度は第 1 回以外、実行

委員会を ZOOM で行いました。他校に先駆けた取り組みはノウハウを共有し、第三ブロックを始め引き続き他校や住区との連携も図りながら模索していきます。令和4年度もこうした取り組みで子どもたちと PTA 会員の方々をつなぐお手伝いをしていきたいと思ひます。

#### <来年度の課題>

- PTA 会費学校引落化（運営・会計）
- PTA 活動のより一層のペーパーレス推進（運営・書記）

#### <PTA からの連絡方法について>

PTA 公式のメール連絡網（学年ごと）と WEB サイトの運用を 4 月より開始予定です。詳細については別途ご案内します。



▲PTA 会費から図書購入費を学校に寄付させていただきました。  
（左：松葉副校長先生・右：川嶋会長）

**1 年間 PTA 活動にご協力いただき、  
誠にありがとうございました！！**